

Massimo La Rosa(マッシモ・ラ・ローサ / トロンボーン)

クリーヴランド管弦楽団首席奏者

1974年イタリアのパレルモ生まれ。パレルモ音楽院にてフィリップ・ボナンノ（シチリア交響楽団の首席トロンボーン奏者）に師事。
1996年から2007年まではベニスのフェニーチェ歌劇場管弦楽団の首席トロンボーンを務め、またミラノ・スカラ座管弦楽団、ローマ聖チェチーリア管弦楽団、フローレンス歌劇場管弦楽団でもソロ・トロンボーンを務める。
2007年9月に首席トロンボーンとしてクリーヴランド管弦楽団に入団。2013年2月にオーケストラの定期演奏会でソロデビューを果たし、その際ニーノ・ロータ作曲のトロンボーン協奏曲を披露。これまでに、日本のサイトウ・キネン・オーケストラでも首席トロンボーン奏者として演奏。現在、クリーヴランド音楽院で教鞭をとっており、アメリカ、ヨーロッパ、日本と南米の主要な音楽院でのリサイタルやマスタークラスを行っている。また、社会的大義にも積極的に取り組んでおり、最近網膜疾患を持つ子どもに財政支援や治療を提供する組織、ANFE Light of Life 基金のためにクリーヴランドやデトロイトのイタリア領事館と共同でいくつかの給付金リサイタルを行い、数千ドルの寄付を集めることに貢献している。バック・トロンボーン・アーティストとして、自身の名を冠したマッシモ・ラ・ローサ バルブを導入した新しいバック・アルティザン・トロンボーンA47MLRをコーン・セルマー社と共同開発した。

呉 信一(ご・しんいち / トロンボーン ※大阪公演のみ)

大阪音楽大学卒業。
大阪フィルハーモニー交響楽団に入団。1975年西ドイツ、デットモルト国立音楽大学に留学。大阪文化祭奨励賞、本賞を受賞。
現在、東京音楽大学教授、京都市立芸術大学名誉教授、大阪芸術大学客員教授、相愛大学客員教授、大阪音楽大学講師、大阪教育大学講師。サイトウ・キネン・オーケストラ、ジャパンプラス・コレクション、いづみシンフォニエッタ大阪の各メンバー。ハイブリッドトロンボーン四重奏団主宰。
関西トロンボーン協会会長。

林 浩子(はやし・ひろこ / ピアノ)

桐朋学園大学卒業後、同大学アンサンブル・ディプロマコース修了。1994年オーストリア・サマーフェスティバルにて優秀賞受賞。1995年やちよピアノコンクール第1位入賞、併せて市長賞を受賞。2000年北海道・旭川新人賞受賞。
映画"記憶の音楽G♭" (2002年6月公開) では黒澤優が演じるピアノ音楽の吹き替えを担当(サウンド・トラック盤がトイズファクトリーよりリリース)。これまでに、スコット・ハートマン、ロルフ・スメドヴィク、オーレ・エドワルド・アントンセン、フリッツ・ダムロウ、エリック・ターヴィリガー、マッシモ・ラ・ローサの各氏と共演、ホルン奏者・丸山勉氏監修によるディズニー作品集【模範・ピアノ伴奏CD/ピアノ伴奏譜付】出版、トロンボーン奏者・萩野昇氏や郡恭一郎氏とのCDがリリースされるなど、ソリスト、共演者として幅広く活躍している。



野中貿易株式会社
NONAKA BOEKI CO.,LTD.



マッシモ・ラ・ローサ クリーヴランド管弦楽団首席奏者 トロンボーンリサイタル

大阪公演 東京公演

2016年6月1日(水) 2016年6月3日(金)
19:00 開演 19:00 開演
ザ・フェニックスホール Hakuju Hall

マネジメント：インターミュージック・トーキョウ
主催：野中貿易株式会社
協力：コーン・セルマー社 株式会社ノナカ
後援：日本トロンボーン協会 関西トロンボーン協会



The Artisan Collection
・BACH STRADIVARIUS・

ラ・ローサ開発モデル



Made in U.S.A.

アルティザン
A47MLR / 「ラ・ローサ」モデル

<p>調子 B♭/F ベル アルティザン彫刻 8 1/2" ベル ボア 13.90mm (太管) バルブ 「ラ・ローサ」モデル オープンラップ</p>	<p>仕上げ イエローブラス 他 フラットリム及びソルダードスティールワイヤーベル リバース・メインチューニングスライド アルティザンスタイル・ウォーターキー</p>
---	---



マッシモ・ラ・ローサ
クリーヴランド管弦楽団
首席トロンボーン奏者



645,000円(税抜)

※表示価格は2016年4月1日現在のものです、税抜です。